

## 総合窓口で個人情報の不正な取扱い

日本共産党 区議会議員 森とおる

### 【総合窓口とは】

2015年、豊島区新庁舎オープン時に「総合窓口課」が設置された。引越しや戸籍の届出に必要な複数の手続きや、各種証明書の発行、住民税等の納付といった、これまで分かれていた窓口を一括りにして、来庁者の負担軽減と混雑解消を目的とするもの。

また、発券・呼出システムやフロアマネージャーを導入し、土日も開庁している。窓口の受付業務、入力業務、フロアマネージャー等は民間委託業者と契約して運営している。

### 【発覚した個人情報の不正な取扱い】

#### ①「戸籍証明書等を見本として使用」

実在する区民の戸籍証明書等を、委託業者が書類を作成する際の見本として使用していた。本来であれば架空の人物による見本を作成するか、せめてマスキング等の処理を施さなければならない。2005年度から行っていた戸籍証明の委託開始時から行われていた可能性がある。

#### ②「戸籍証明書等を社員研修に使用」

委託業者が社員研修を行う際に、戸籍システム検証環境画面から実在する区民のデータをコピーして、証明書の書式に書き写す実技指導を行っていた。区はコピーすることについては認めていなかった。こちらも架空の人物による資料を作成しなければならない。

#### ③「本人確認に個人番号（マイナンバー）通知カードの提示を求めていた」

住民票の写し等の交付にあたり、国が本人確認書類として認めていない個人番号通知カードを、来庁者に対して提示を求めていた。

### ▼日本共産党の

#### 徹底した調査

日本共産党は、昨年12月に「区の総合窓口において個人情報の誤った取扱いが行われている」といった情報をつかみました。

直ちに情報公開請求し、委託業者との契約内容、マニュアル、区とのやり取り等の資料を入手し、担当部課長に聞き取りをするなどの調査を行ってきました。

その結果、区民の個人情報

が不正に取り扱われているという事実を明らかにしました。

### ▼予算特別委員会

#### 告発と追及

3月15日、私はこの問題を予算特別委員会で取り上げました。区民の誰も個人情報流出する危険性があることを告発し、区民の信頼をゆるがす重大問題であると追及しました。

区は「極めて重大な問題」として条例違反等を認め、

26日の定例会最終日の議員協議会で経過報告することを約束しました。（左記）

以前のように正規職員が窓口業務を行っていたら起こらなかった問題です。公民連携を口実に次々と民間委託を進めている区長の責任は重大です。私は、本件の内容を明らかにし、区民に説明と謝罪することを強く求めていきます。

日本共産党 区議会議員

森とおる

区役所控室 3981-1429

自宅 6912-0135

2018年 4月 10日発行

